



# 未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町 913-3 TEL:0743-58-5225

6月供給高 6447.2万円 (前年比 119.9%)

6月組合員数 3,004人 (前年比 98.6%)

検索してみてください

生活クラブ奈良

議案 (賛成多数により、すべて承認)

- 第1号議案 2019年度活動報告承認の件
  - 第2号議案 「みなし脱退」処理に関する3月度理事会決定の報告承認の件
  - 第3号議案 2019年度決算報告及び損失金処理案承認の件
  - 第4号議案 2020年度活動計画及び事業計画案承認の件
  - 第5号議案 エッコロたすけあい制度承認の件
  - 第6号議案 定款変更の件
  - 第7号議案 2020年度役員報酬限度額決定の件
  - 第8号議案 役員補充選出の件
- (特別決議 出資金の継続積み立てに関する特別決議)



理事長 甲斐 京子

2020年6月15日(月) 10時~11時  
DMG MORIやまと郡山城ホールにて  
第14回 通常総代会が開催されました。  
(総代100名中、本人出席9名・書面議決書出席91名)

## 「共に助け合おう」

第14回通常総代会は組合員代表の総代により全議案賛成可決され、無事終了いたしました。総代会は生協の最高議決機関であり、一年間に取り組んできたことが組合員の意思に沿って行われたか、次年度に行われようとしている取組みが組合員の暮らしに貢献できるかどうかを総代が判断し、活動方針や事業方針の決定にかかわる重要な議決を行います。

今年度は新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、大勢の人の集まりを避けるために書面議決中心の開催になりました。

### 今、私たちにできること

新規提案の第5号議案「エコロたすけあい制度」が承認されました。生活クラブ全体で「F(食)・E(エネルギー・環境)・C(福祉)」自給ネットワーク作りが進められている中で、ようやく今までできてこなかった「C(福祉)」活動がスタートします。「エコロたすけあい制度」は生活クラブ独自の「共済」であり、組合員同士のたすけあいによって、より暮らしやすいような地域社会にしていくことが目的です。近所に知り合いがいなくても、誰が生活クラブの組合員か分からないなど課題山積ですが、「自分たちが作る共済」である一人でも多くの組合員に伝え、賛同してもらえよう活動を進めていきます。

### エコロたすけあい制度が承認されました

「仲間づくり・利用結集」の活動の軸は提案通りですが、オンラインでの会議・オンラインによる生産者交流会など家からでも参加できる企画、3密を避けて人に会える交流も含めて考えていきます。今、私たちにできることを大勢の組合員の知恵で乗り越えていきたいと思います。



### いまこそ立ち止まって一緒に考えましょう!

専務理事 城本 隼

組合員のみならず、日頃は共同購入事業をはじめ、生活クラブの様々な活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。今年に入ってから発生した新型コロナウイルス感染症による世界規模の大混乱はご存知の通りだと思います。私たちの日常生活がこんなにも容易く破壊され、未だに収束の見えない不安な状況下で日々を過ごすことになるなど誰が想像できたでしょうか。また、近年は「何十年に一度」と言われる規模の自然災害が毎年発生しています。

ひとたび自然が猛威を振るえば、これまで人類が築き上げてきた価値観などひたすら壊れてしまいます。生活クラブの「サステイナブルなひと」。サステイナブルとは「持続可能」ということ。何が持続可能なのか?それは様々な分野に当てはまります。生活クラブの消費材を利用することもサステイナブル。お友だちに生活クラブを紹介することもサステイナブル。生活クラブでんきに切り替えることもサステイナブル。

あなたがいま問題とすることは何ですか?日々流れるニュースのどんなことに不安や怒りを感じますか?生活クラブの組合員は全国で約40万人。ひとりひとりの力は小さくても、集まれば社会を変える大きな力になります。世界のスピードが緩やかになった今だからこそいっしょに考えてみませんか?生活クラブを活用して、出来る範囲ながらも思いっきり活動してみませんか? 私たち職員組織は事業をしっかりと継続しながら、皆さんが活動できる生活クラブ奈良という場を守っていきます。今年度もよろしくお祈り致します。

### これから始まる活動 エッコロ



理事 合田 淳子

エコロは、組合員が作る共済です。イタリア語で「はい、どうぞ」という意味で、他単協ではすでに活動が始まっています。「あつたらいいな」という頼みごとができたり、新しい「おたすけ」を考えていくのがエコロです。

### 10月から始まります

エコロは、組合員同士でお願いをしたり、たすけあったりします。組合員一人一人のできる事を登録して、気軽に「おたすけ」をしませんか? 毎月100円の掛け金で、突然やってきた困り事を助けられるというところは、と

とても安心だと思います。それが同じ奈良の組合員で近くに住んでいる人だったら、なおさら安心できると思いませんか? 最初は知らない組合員同士でも、エコロを通じて知り合いになっていけば、何か起こった時に安心できます。組合員の皆さんは、生命保険や損害保険、共済など何かしら保険に加入していると思います。車を運転する人は損保、家を購入したら万が一の保証の為に保険に入っていると思います。エコロは、それらの保険では補えない部分を登録組合員同士でカバーし合う共済です。是非、組合員の皆さんでたすけあいの輪を広めて、強い絆を結びましょう!

# 理事より

## ひとこと



新しい形を  
取り入れて  
堀口 雅子

世の中はこれからどうなっていくのか、ウイズコロナの「新しい生活」は見通しにくい状況ではありますが、私達の『活動』を続けていけるように、今年度も頑張っていきたいと思います。

現在の活動状況としては、『三密』を避けるという観点から、集会や企画開催、大勢での試食などが難しい状況となっています。新年度になつて以降、組合員活動はストップを余儀なくされ、年度後半も感染拡大第二波への懸念から「従来」の活動を行う事が困難と予想されており、新しい活動の形やアイデアとして、オンラインでの学習会・交流会の提案などが生まれてきました。ためらう事無く新しい形を取り入れ、活動の継続を目指していきますので、組合員の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



生産者の声を  
夏目 有香

土や虫など、その土地それぞれに空気や味わつたのが好きな私です。産地に赴き、生産者の生の声を組合員の皆さまにお届けしたかったのですが、このご時世：。気分が落ち込んでいた時に：なんと届きました！山本農園の梅です。その芳醇な香り、梅を水に沈めた時の光をまとった艶色。何とも言えない嬉しさで心が満たされました。こうして毎年どんな状況下でも変わらずに届けてくださる生産者の方々に感謝の気持ちを持つとともに、自分にできることは何かを常に考えなければなりません。

今年度は、SNSやチラシを中心に組合員の皆様と情報共有できるように努めてまいります。おすすりめしシなどあればぜひ教えてください。

余談。今ハマっているものは、1つ目、手づくり麦茶です。畑で麦から育て、脱穀、唐箕を手作業で。あとは30分ほどじっくり炒れば出来あがり。炒りたて麦茶は香りも味も香ばしくすぐく美味しくいただけます。今年の夏を乗り切れそうです。2つ目は文庫本「魔女の宅急便」シリーズです。この話に一貫している「もちつもたれつ」、そこから生まれる「ふわっ」とした空気、心揺さぶられまくりです。



生きていく  
知恵を  
伴舞

コロナの世界的パンデミックは、世変わりした時に私たちが「どのように社会

で生きるか」を考えるきっかけになった気がします。そして、人とのかわり方、家族のあたたかさ、政治の役割、コミュニティ、社会のこと、地球のこと、自然の美しさ。今後みんなで話したり考えることが増えたように思います。

小さいころから「おばあちゃんのお話」が大好きです。この春は3才の娘とドクダミを採ってお茶を作りました。たいへんでしたが娘は自分で作ったお茶に感動しています。蛇イチゴもチンキにしました。夏は虫にさされても自然のお薬で安心です。お灸も始めました。よもぎのパワーに魅了され、オイルも作りました。

手洗いマスク、だけではなく、「免疫力」が大切だと思ひ、醗酵食品のぬか床もせつせとまけています。醗酵食品で免疫をあげる勉強をしようと思っています。10年以上陶芸をしています。陶芸という職業を選んだ理由は、古くからの技法が今にも継承されている仕事であること、自然である粘土を使うこと、大きな理由のひとつです。仕事や家事もしつつそんな風に過ごしていたら、コロナ自粛中に、素朴な生活や手仕事に改めて豊かさを感じました。

「おばあちゃんのお話」のように、昔からのやり方や手仕事、便利で情報の多い社会で見直されると良いなと思ひます。理事2年目、学びは多いですが、知るを楽しむ、頑張りたいたいと思ひます。



親としての  
視点で  
岩井 沙奈

私が生活クラブを知ったきっかけは、シンプルライフ研究家のマキさんでした。昨年、第二子を妊娠中だった私は、マキさんの「子どもたちとの『時間』を何より大切にしたい」という想いに共感し、著書を読むうちに、生活クラブの存在を知りました。

日々の買い物物の負担を無くしたい、というのが一番の理由でしたが、同時に安心、安全なものを子どもたちに食べさせたい、という思いもありました。

半年以上続けてみて、まず思ふのは、とにかく美味しい、ということ。特に3歳になる娘は牛乳が大好きで、一瓶が一日で空っぽになることもしばしばです。育児に手がいっぱい、どうしても簡単なものになりがちなの食事も、「安全なものを食べさせている」と思うと、少し気が楽になります。

そしてこれは思ひもよらなかつたことなのですが、食以外、自分たちの暮らしを支えてくれているものがどこから来て、どんな形で自然に還って行くのか、ということをとても意識するようになりました。

まだ加入して日も浅く、正直不安でいっぱいですが、小さなふたりの子を持つ親としての視点で、活動に参加していければと思ひます。



次の世代に  
バトンを  
北口 芳則

職員として、組合員に信頼される事業をすすめてい

## 簡単お料理レシピ 「小カぶとツナのソテー」



### 作り方

- ①小カぶは皮ごとよく洗い6等分のくし形切りに、小松菜は4cm長さに切る。
- ②フライパンにオリーブオイルを熱し、カぶを入れて焼き色がつかまで焼き、まくろスープ煮缶(汁ごと)小松菜を加えて汁気がなくなるまで炒める。
- ③仕上げに、真塩、ブラックペッパー(粗挽き)で調味する。(野口八重子)

### 材料 (4人分)

- 小カぶ 400g
- 小松菜 100g
- オリーブオイル 大さじ1
- まくろスープ煮缶 1缶
- 真塩 小さじ1/3
- ブラックペッパー 少し



楽しく活動を  
川越 裕文

2017年より、事務局として組合員活動に携わってきました。生活協同組合は、事業と運動を通じて社会にある問題とその解決策を提起しています。組合員が活動し力を結集することによって、社会に対して影響力を持つ事が出来ます。私たちが住んでいる地域で起こっている問題や課題を解決するために、より多くの組合員が参加し楽しく活動ができるような生協にしていきたいと思ひます。

若い頃、お稽古の先輩から教えてもらったこと。趣味を持つなら家の内でも出来る事と家の外で出来る事の両方を持つてるといいよ。今回、新型コロナウイルス感染症拡大でステイホームが長く続き、外にある楽しみが得られず、この生活で出来る事を考えて楽しめた。長く習ったパッチワークで放ったらかしのパターンの整理や、途中で置いてる小物作り等。教室に行つてやっていたヨガも「そうやうに」チューブを見ながらやろう！」ってなり、結構頑張れた。家にいる時間が長く大切な事は何？って立ち止まって考えることが出来たと思う。アフターコロナになつてもチューブを見ながらのヨガも続けられそう！(野口八重子)